

## 長野県森林づくり指針の計画期間の延長について

このことについて、みんなで支える森林づくり県民会議や、地域ごとに開催しています地域会議(佐久地域会議令和2年度第1回(令和2年7月30日開催))の委員の皆様、林業関係団体や林業事業体等の皆様にご意見を伺ったところ、全体を通じて、期間の延長は妥当との意見をいただきました。

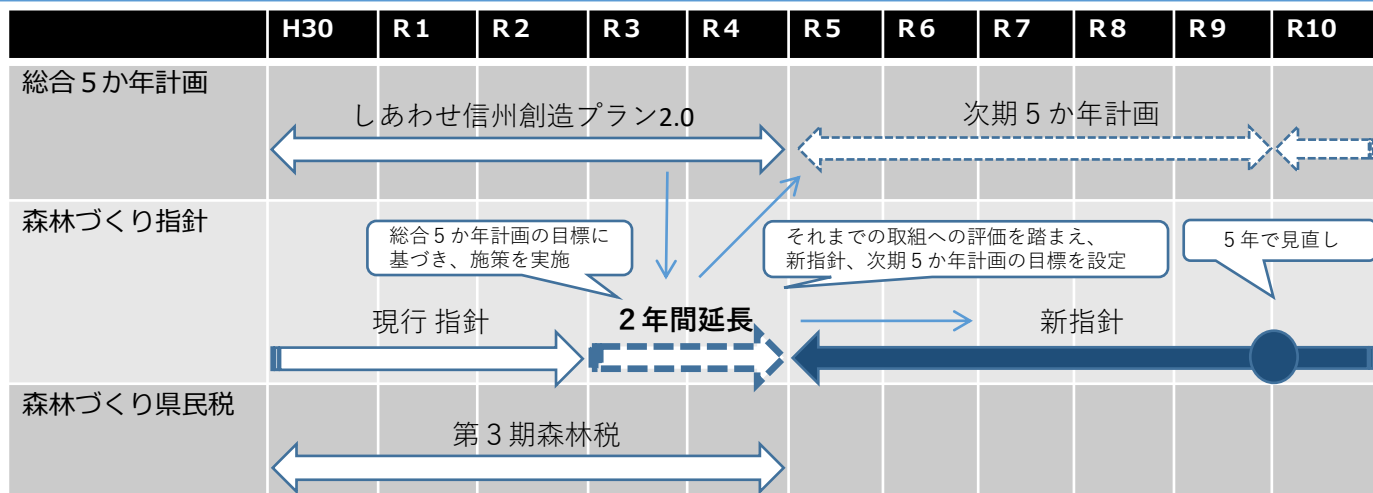
これを受け、計画期間の延長及び延長目標値が別紙のとおり決定されました。

# 長野県森林づくり指針の計画期間の延長について

森林政策課

## 計画期間の2年延長

- H30年のしあわせ信州創造プラン2.0（長野県総合5か年計画）の策定に当たっては、指針を踏まえて、2つの指標を森林・林業分野の関連目標に設定
- 指針の計画期間はR2年度まで、総合5か年計画はR4年度までと、**計画の期間に2年間のずれ**があることから、**整合と調和を図るため、R4年度まで現行指針の計画期間を2年延長**
- 計画期間の延長に当たり、**みんなで支える森林づくり県民会議等に意見を伺い、基本指標と施策目標の目標値を見直し**



## 指針の延長目標値の考え方

- 素材生産量は、総合5か年計画と同一の目標値を活用
- 素材生産量以外の目標は、総合5か年計画の目標値を設定した際に活用・検討した数値や、実績数値、関連する計画等を踏まえて目標値を設定

## 基本指標

項目	基準値 (H21)	現行目標値 (R2)	実績 (R1)	説明	延長目標値 (R4)
<b>民有林の整備</b> (50年後の針葉樹占有率)	59%	43% (※R42)	59%	間伐は進むも、皆伐が少なく、統計上の変化なし	43% (目標年度をR44とし、現行指針の目標値を踏襲)
<b>民有林の間伐</b> (期間累計)	-	18.4万ha	14.4万ha	条件困難地が残存、集約化の人員と現場労務が不足	20.3万ha (総合5か年計画の目標値設定に活用)
<b>素材生産量</b> (年間)	30.5万m <sup>3</sup>	75.0万m <sup>3</sup>	56.4万m <sup>3</sup>	製材は減少、合板は増加、バイオマスは今後増加見込	80.0万m <sup>3</sup> (総合5か年計画の目標値を活用)
<b>林業就業者数</b>	2.6千人	3.0千人	1.4千人	働き手の減少、保育事業の減少、不十分な就業環境	2.2千人 (総合5か年計画の目標値設定に活用)

※ 現行指針では、民有林の整備のみ目標年度を50年後（平成72年度＝令和42年度）に設定

## 施策指標

項目	基準値 (H21)	現行目標値 (R2)	実績 (R1)	説明	延長目標値 (R4)
保全される集落数 (期間累計)	-	700集落	493集落	災害の激甚化・多様化による対策の遅れ	<b>670集落</b> (総合5か年計画の目標値設定時に検討)
山地災害危険地区 整備率(期間累計)	18.3%	21.2%	20.8%	現行目標値はR2に達成見込み	<b>21.8%</b> (過去の伸び率から算出)
間伐材搬出量 (年間：民有林)	14.3万m <sup>3</sup>	23.8万m <sup>3</sup>	14.1万m <sup>3</sup>	H26～30は17～19万m <sup>3</sup> で推移も、台風の影響や搬出間伐から主伐に移行しつつあり減少	<b>28.0万m<sup>3</sup></b> (総合5か年計画の目標値設定に活用)
路網延長 (累計)	12,829km	14,429km	14,471km	達成済み	<b>14,719km</b> (過去の伸び率から算出)
路網密度 (累計)	18.9m/ha	21.2m/ha	21.1m/ha	現行目標値はR2に達成見込み	<b>21.6m/ha</b> (過去の伸び率から算出)
-素材生産量 用途別- 製材用(年間)	169千m <sup>3</sup>	414千m <sup>3</sup>	179千m <sup>3</sup>	住宅着工数の減少、合板需要の増加により伸び悩み	<b>303千m<sup>3</sup></b> (総合5か年計画の目標値設定時に検討)
-素材生産量 用途別- 合板用(年間)	76千m <sup>3</sup>	119千m <sup>3</sup>	234千m <sup>3</sup>	達成済み	<b>200千m<sup>3</sup></b> (総合5か年計画の目標値設定時に検討)
-素材生産量 用途別- チップ・バイオマス用(年間)	60千m <sup>3</sup>	217千m <sup>3</sup>	151千m <sup>3</sup>	木質バイオマス発電施設の稼働が開始されており今後増加の見込み	<b>297千m<sup>3</sup></b> (総合5か年計画の目標値設定時に検討)
県産材出荷量 (年間：製材品出荷量)	120千m <sup>3</sup>	237千m <sup>3</sup>	96千m <sup>3</sup>	住宅着工数の減少、合板需要の増加により伸び悩み	<b>200千m<sup>3</sup></b> (総合5か年計画の目標値設定時に検討)
森林の里親契約件数 (期間累計)	51件	100件	139件	達成済み	<b>154件</b> (森林税基本方針の目標値)
二ホンジカ生息頭数 (保護管理計画策定時点)	62千頭	31千頭	217千頭	生息頭数は5年毎の調査で更新しており、R2調査の推定により、R1は217千頭と算出	<b>184千頭</b> (R1生息頭数比15%減)
野生鳥獣被害に対する 支援集落数(年間)	919集落 (被害集落 1,300集落)	全被害集落 に対し支援 を継続	665集落 (被害集落 939集落)	R元の被害発生集落である939集落の内665集落を支援(70.8%)	対象集落の内、被害発生集落の <b>7割以上</b> を支援 (過去の実績から算出)

### 主な意見 (みんなで支える森林づくり県民会議・地域会議、林業関係団体、林業事業者等)

#### ● 期間の延長について

- ・ 期間を2年延長して総合5か年計画等と整合を図ることは妥当。

#### ● 指標について

- ・ 素材生産量80万m<sup>3</sup>は、コロナ禍で搬出間伐等の素材生産が減少しており厳しいのではないか。
- ・ 林業就業者2.2千人は、林業生産活動が停滞する中、林業事業体に新規雇用の体力はなく、雇用維持で精一杯の状況であり、厳しいのではないか。

#### ● 次期指針の検討について

- ・ 細かい各指標の実績(成果)を数値化して、大きな項目に集約化し、林業経済効果など大項目に見える化してはどうか。
- ・ 目指す姿の100年レベルと、数値目標の10年レベルのギャップを埋める工夫が必要。